

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	高齢者・障がい者にやさしい住宅改修事業	担当者	民生課	福祉係
-------	---------------------	-----	-----	-----

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	2. だれもが健康で、心安らぐ村／福祉・健康・医療の充実/高齢者福祉・障がい者福祉			
関連する主な計画等	信州あちおたっしゅプラン21			
根拠法				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	要介護認定を受けた1号被保険者または65歳未満で障害者手帳所持者(4～6級の場合、独居又は常時介護する者がいない者)がいる、前年の所得税額が8万円以下の世帯			
事業開始年	H12～	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	要介護高齢者や在宅障がい者の居住環境を改善し、日常生活をできるだけ自分で行えるように支援することにより、高齢者福祉の向上、家庭介護者の負担軽減を図る。				
具体的取組	長野県が定める「高齢者にやさしい住宅改良促進事業実施要領」及び「障がい者にやさしい住宅改良促進事業実施要領」に基づき実施。 700,000円を限度に9割を補助。				
実績・効果	住宅改修費用を補助することで、高齢者の住宅環境改善、家族介護者の負担軽減につながった。 高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金支給額 630,000円				

歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	事業補助金	630				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	0	0	630	1,260	1,260
	うち一般財源	0	0	315	630	630
	うち補助金			315	630	630
	うち個人負担					
従事職員(人)	正規職員					
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	在宅生活を支える事業として要望は強いが、介護保険制度の適用が優先となっている。 安全に生活できる住環境改善に結びつき、在宅福祉の増進を図れる。 県実施要綱に基づいており妥当である。 要介護状態の重度化予防として村の関与は妥当。	B
	手段、成果は妥当か	a		
	対象者の設定は妥当か	a		
	村の関与は妥当か	a		
有効性	期待された効果が得られたか	活用した際の住宅環境改善としての効果は高いが、活用が少ない。	B	
効率性	コストの削減に努めたか	a	対象の見直しでコスト削減を図れるが、サービスの低下にもつながる。 介護サービス等の申請時に対象と思われる方に本事業の説明を行った。	B
	効率性を高める工夫はされたか	b		
公平性	受益者負担は適切か	県実施要領に基づいており、適切である。	A	
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	年度当初に県に対して実施予定件数をあらかじめ報告する必要があるが、希望者全員に対応できない場合がある。
今後の取り組み	介護保険制度の住宅改修が優先されるため実績は少ないが、高齢者が増えていく中で適正な助成を行うための準備が必要であり今後も継続していく。